

令和8年度 第1回市長タウンミーティング概要

と き：令和8年4月11日（土）
午前10時30分～正午
ところ：東公民館
参加者：135人

○市長あいさつ

（市長より、令和8年度の施策・予算についての説明が行われました。）

○意見交換

質問（市民）

20年間、蕨市に障害者の入所施設を設置してもらおうよう運動してきた会の者です。先日、豊島区のグループホームを見学した際、見学した重度の障害児を持つ親御さんが、入所施設でなくても、この設備や職員数ならうちの子も住むことができるかと話していました。蕨市も入所施設整備は、土地の確保が難しくても、グループホームなら整備できる可能性があると思います。これから市に要望書などを出して要望していきますが、土地や資金など検討していただきたいです。

回答（市長）

市長面会などを通して保護者のかたから、自分が高齢になり、何かあった後が心配なので、入所施設を整備してほしいという切実な声を伺っており、その必要性について承知しています。しかし、施設整備にあたって、広い土地や運営する社会福祉法人の確保などの課題があるほか、入所施設は国からの補助金が付きにくいという傾向にあり、蕨市や戸田市には設置できていないのが現状です。この間も、近隣の川口市・戸田市と連携しながら、暮らしの場の確保対策を検討してきましたが、規模が小さいグループホームなら設置できるのではというご意見もいただいていますので、担当課のほうで、どのような体制があれば重度のかたでも受け入れできるのか、社会福祉法人がそうした運営をしてもらえるのかなどを含め、現在、意見交換をさせていただいています。入所施設やグループホームについて、引き続き近隣市と連携して、障害者の方の暮らしの場の確保に向けて検討していきたいと思っております。

質問(市民)

昨年のタウンミーティングにおいて、大雨が降るとマンションのトイレが逆流して困っているとお話をさせていただきました。その後、すぐに建築課や下水道課の職員のかたが来て調べてくださり、原因がはっきりして、来月中旬に工事が進められることになりました。早急に対応していただき感謝しています。これからも何かありましたら、よろしくお願ひします。

回答(市長)

昨年、お話を聞かせていただき、すぐに担当を現場に行かせましたが、改善につながりそうで良かったです。また、何かありましたら、ご意見をいただければと思います。

質問(市民)

塚越地区の未来図を描く塚越ビジョンについて伺います。市内最大の公園である市民公園、防災の拠点としても重要な役割を果たす東公民館、老朽化が進む塚越5丁目会館などの改修や建替え等が急がれると感じています。市役所を含む公共施設から離れ、線路をまたぐ塚越地区の利便性の向上、再構築を含めたビジョンのデザインの時期など教えてください。

回答(市長)

塚越には独自のすばらしい歴史があるのに加え、市内最大の公園である市民公園や、市内で一番人通りの多い商店街のほか、学校が多くあり、教育施設が充実しているなどの特徴があります。一方で、JRの線路で地域が分かれていることから、行政の利便性について、独自の苦勞もあるということもお伺いしてきました。そこで、蕨市全体の将来ビジョンに加えて、塚越ビジョンをつくること、塚越地区の発展、市全体の発展に必要だと思い、マニフェストに掲げさせていただきました。まずは今年3月に、塚越地区の皆さんに無作為でアンケートをさせていただきましたが、今後は塚越ビジョン策定市民懇談会を中心にご意見を伺い、今年度中にビジョンを策定していきます。その中で議論をしていただくこととなりますが、東公民館に行政センターの役割が必要だと感じているので、例えば、マイナンバーカードなどの手続きができないかなどが検討課題となると思います。また、将来的に東公民館を建て替える時期が来たときに、どんなことができる施設になってほしいか、市民公園を含めた塚越の中心エリアの将来像について、夢のあるビジョンが描けたら良いなと思っていますので、今後も皆さんのご意見をお聞かせいただければと思っています。

質問(市民)

昨年のタウンミーティングで水道料金について伺い、2割から3割の値上げはやむを得ないと思っていました。しかし、決定した値上げ率を見て、この判断は問題を先送りにしただけではないかと感じました。(3割の)値上げと言っても金額は微々たるものですし、負担できる範囲内だと思います。適正料金を守ることは、水道インフラにおいても大事なことです。3年後は適切な判断をしてほしいです。

回答(市長)

貴重なご意見ありがとうございます。私としては、電気代などを含めて多くのものの物価が上がっている中で、9.59%の値上げを市民の皆さんにお願いすることも正直心苦しいと思っています。色々なご意見がある中、議会でも活発な議論をしていただき、今回の決定に至りました。一つ誤解があってはいけないのは、今回の改定によって問題が先送りにされるわけではないということです。改定で赤字となるわけではなく、計画期間において黒字経営が続くようになっており、今年度でいえば、重要施設配水管の耐震化工事などの設備投資等も予定通り実施します。経営者としては、10年間料金を据え置けるくらいの改定をする判断もありますが、市長として、市民の皆さんが大変な時期は必要最小限度に留めるのが良いと判断をしたものです。水道経営の持続性と市民の皆さんの暮らしを両立させるため、今回の改定率とさせていただいていますので、ご理解をいただければと思います。

質問(市民)

音楽によるまちづくりに関係する要望です。蕨市PR大使に元宝塚でミュージカル女優として活躍されている真彩希帆さんがいますが、現在、女優としても脂が乗っている時期だと感じています。そこで、出演ミュージカルのブルーレイディスクなどを購入して、図書館や東公民館などに設置し、PRするコーナーを設けていただけたらなと思っています。通常の図書館での購入ルートでは難しいかもしれませんが、蕨市PR大使ということもあるので、直接お願いするなど検討をお願いします。実現できた際には、上映会なども行うことで地域の活性化やラビコの入会にもつながると思うので、ぜひご検討ください。

回答(市長)

貴重なご提案ありがとうございます。現在、図書館などで用意している映像資料は、市民の皆さんに貸出してよいものとして購入をしています。真彩さんの出

演作品もそのような目的で購入できるものがあるのか、その他、購入への条件には何があるかなど確認し、クリアできるということであれば、ぜひ実現していきたいと思います。

質問(市民)

娘が東中学校に通っている者ですが、教育環境についての質問です。蕨市は教育環境が整っているなど感じているのですが、一点だけ気になることがあります。保護者会するときにも話が出たのですが、クラスで中国語に変えて悪口を言うことが多くなってきているという話がありました。先生としても初めは気づかず、問題が発覚するまで時間がかかったということでした。35人学級の内、中国人の生徒が7、8人いる状況で、その中には日本語もわからない生徒もいると思います。学校の中で何かしら対策や取り組みなどがあるのかどうかお伺いしたいです。

回答(市長)

蕨市では支援が必要な外国人の児童生徒に対し、日本語特別支援教室を設置し、生活に困らないようなレベルの日本語を習得できるように対策しています。保護者も日本語が分からない場合には一緒に通ってもらい、スムーズに教育が受けられるように取り組んできました。昨年からは東中学校内に市内2か所目となる教室を設置しました。また、教室の開設に加えて県による教員の加配措置を活用し、指導体制の強化を進めています。しかし、実際の学校現場で、今伺ったようないじめにつながりかねない問題が起きているというのは望ましくないことなので、学校でも配慮はしていると聞いてはいますが、今後も対応と対策を進めていきたいと思っています。

質問(市民)

蕨に長く住んでいますが、20年くらい前から年々治安が悪くなってきているように感じています。また、移民のかたが増えることで、ファミリー層のかたたちが移り住みたいと思わなくなっていると思います。中山道や双子織など由緒あるまちですので、何か対策をお願いします。

回答(市長)

全体の状況として、国の施策で外国のかたが増えてきているのは間違いないと思います。技能実習生などをはじめ、働きに来ている外国のかたは利便性の高

い地域に住みたいと感じていて、東京23区やそれに近い蕨市を含む県南部などに増えてきているのが実態です。国の施策は国の施策として、市長としての仕事は、蕨に住む皆さんの暮らしと安心を守り、住みよいまちにしていくということです。実際のところ、市内の犯罪件数は、平成15年のピークから昨年は4分の1以下にまで減少しています。外国のかたとの文化や言葉の違いで課題があるというのは事実ですので、日本の文化やルールなどを外国人住民の皆さんに理解してもらい取り組みを進めています。具体的には、ごみの出し方の多言語版の配布やクリーンステーションへの多言語表記の拡充、日本の暮らしのマナーなどを伝える生活オリエンテーションの充実などです。また、町会の皆さんにもご協力していただくことで、日本のマナーについて理解してくださるかたも多いです。もし個々に具体的に困っていることがあれば、ご連絡をいただければ、職員を向かわせて状況を確認し、対応していきたいと思えます。

質問(市民)

小学校トイレの改修をしていただき、ありがとうございます。蕨市は子育てがしやすく感謝しています。日本国籍と外国籍の比率に関して質問です。蕨市は外国人比率が11%と全国平均の3%を大幅に上回る数字で、小学校も3分の1が外国籍という状態です。新築が建てば外国籍の表札、転校生が来れば外国籍という状態と感じ、不安を抱えています。多文化共生が理想なのは分かりますが、近年の川口市などでの事件や、町で見かける振る舞いが日本人とは異なる様子を見ると、文化的な違いを感じてしまいます。また、災害などが起こったとき、どうなってしまうのかと不安を感じます。そこで伺いたいのですが、今後定住する日本人ファミリー層を呼び込むにはどうしたらよいか、施策について考えをお聞かせください。

回答(市長)

蕨市では、子育て世帯に選ばれるまちにしようと色々な施策を実施していますが、これを日本人だけにやりますというのはできませんので、子育て施策をしていけば日本人のかたも外国籍のかたも、便利だから住もうとなり、人口も増えていきます。人口増は税収など含め、経済の活性化にもつながっているのですが、外国籍のかたが一定の比率を超えると、教育現場などで難しさが出てくることもありえます。子どもたちがマイナスにならないように職員の配置など特別な対策をしているほか、逆に国際教育として、その子のプラスになるような環境整備も進められればと考えています。ほかにも、蕨市では三世代ふれあい家族住宅取得補助金制度などを実施していますが、こうした施策を通し、結果として日本

人の子育て世帯の皆さんの呼び込みにもつなげていければと思います。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。